

スイッチングハブ一覧

製品名	Catalyst 2950G			Catalyst 2980G	Catalyst 3500シリーズ				
	2950G-12-EI	2950G-24-EI	2950G-48-EI	2980G-A	3508G-XL-EN	3512-XL-EN	3524-XL-EN	3548-XL-EN	
型名	LCS295G12	LCS295G24	LCS295G48	LCS2980GA	LCS3508GE	LCS3512E	LCS3524E	LCS3548E	
インタフェース	10 / 100BASE-TX	12	24	48	80	-	12	24	48
	1000BASE(Gbic)	2			8	2			
ネットワーク管理	SNMP, RMON								
諸元	外形寸法 (W.D.H)	445 x 242 x 44mm		445 x 330 x 89mm	445 x 432 x 89mm	445 x 406 x 44mm		445 x 300 x 44mm	445 x 390 x 44mm
	質量	3kg		4.5kg	7.3kg	5.5kg		4.7kg	5.5kg
	消費電力	30W			204W	83W	50W	75W	100W
その他(機能)	VLAN(802.1Q), CoS優先順位設定, WRR, CGMP, アドバンスドQoS, 帯域制御機能, マルチキャストマネージメント, セキュリティフィルタなど				VLAN(802.1Q), イーサチャネルなど				
					VLAN(802.1Q, ISL), ファストイーサチャネル, ギガビットイーサチャネル, CGMP(IPマルチキャスト効率伝送) など				

製品名	Catalyst 3550シリーズ					
	3550-12T	3550-12G	3550-24-SMI	3550-24-EMI	3550-48-EMI	
型名	LCS3550A	LCS355G12	LCS355S24	LCS355E24	LCS355S48	LCS355E48
標準搭載 LAN	10 / 100BASE-TX	-	-	24	-	48
	10 / 100 / 1000BASE-T	10	2	-	-	-
	1000BASE(Gbic)	2	10	-	-	2
レイヤ3スイッチ	IP, IP multicast		アップグレードにて対応	IP, IP Multicast	アップグレードにて対応	IP, IP Multicast
ネットワーク管理	SNMP, RMON					
諸元	外形寸法 (W.D.H)	445 x 404 x 67mm		445 x 366 x 45mm		445 x 413 x 45mm
	質量	7.3		5.0		5.9
	消費電力	190W		65W		86W
その他(機能)	VLAN(802.1Q, ISL), CGMP(IPマルチキャスト効率伝送), スパニングツリー, ファストイーサチャネル, ギガビットイーサチャネル					

Catalyst2950シリーズ
高性能BOX型スイッチングハブ



Catalyst3550シリーズ
レイヤ3スイッチに対応可能なBOX型スイッチ



製品名	Catalyst 4000シリーズ			Catalyst 4900	
	Catalyst 4003	Catalyst 4006	Catalyst 4006A	Catalyst 4908G-L3	Catalyst 4912G
型名	LCS4003A	LCS4003B	LCS4006A	LCS4908G3	LCS4912GA
標準搭載 LAN	10 / 100BASE-TX	-	80	-	-
	10 / 100 / 1000BASE-T	-	-	-	-
	1000BASE(Gbic)	-	2	8	12
スロット数	3 (空き2)	3 (空き0)	6 (空き5)	-	-
レイヤ3スイッチ	オプションモジュールで対応			標準対応	-
オプションインタフェース	10 / 100BASE-TX, 100BASE-FX, 1000BASE			-	-
VLAN	802.1Q(L3拡張モジュールでISLサポート)			802.1Q, ISL	802.1Q
その他	スパニングツリー, ファストイーサチャネル, ギガビットイーサチャネル				
諸元	外形寸法 (W.D.H)	445 x 309 x 266mm	445 x 381 x 443mm	440 x 457 x 66mm	445 x 381 x 69.9mm
	質量	12 ~ 18kg	14 ~ 27.7kg	最大8.1kg	最大6.12kg
	消費電力	400W	800W	175W	120W

製品名	Catalyst 5500シリーズ			Catalyst 6000 / 6500シリーズ				
	Catalyst 5500	Catalyst 5509	Catalyst 5505	Catalyst 6513	Catalyst 6009	Catalyst 6006	Catalyst 6509	Catalyst 6506
型名	LCS5500*	LCS5509*	LCS5505*	LCS6513*	LCS6009*	LCS6006*	LCS6509*	LCS6506*
スロット数	13(CPU用含)	9(CPU用含)	5(CPU用含)	13(CPU用含)	9(CPU用含)	6(CPU用含)	9(CPU用含)	6(CPU用含)
バックプレーン容量	3.6Gbps			32Gbps / 256Gbps				32Gbps
ルーティングプロトコル	TCP / IP, IPX, AppleTalk, SNA, XNS, OSIなど			TCP / IP, IPX, AppleTalk, SNA, DECnet, VINS, CLNS / OSI				
インタフェース	10BASE-T, 100BASE-TX / FX / 1000BASE, FDDI, ATM, OC3 / OC12			10 / 100BASE-TX, 100BASE-FX, 1000BASE, ATM OC3, DS3, OC12) WAN, OSM				
その他	VLAN(802.1Q, ISL), FastEtherChannel, LANエミュレーション機能, MPOA機能, 基本部 / 電源部二重化, HSRP(ホットスタンバイ)			VLAN(802.1Q, ISL), FastEtherChannel, GigaEtherChannel, 基本部 / 電源部二重化				
諸元	外形寸法 (W.D.H)	439 x 463.6 x 641.4mm	431 x 460 x 508mm	425 x 445 x 262mm	425 x 447 x 823mm	425 x 447 x 623mm	425 x 447 x 497mm	425 x 447 x 497mm
	質量	31.7 ~ 72.5kg	24.9 ~ 67.9kg	19.5 ~ 39kg	29.4 ~ 90.9kg			
	消費電力	1100W	1150W	376W	2500 / 4000 x N	1000 / 1300 / 2500 / 4000 x N		

手配型名の「*」は、搭載メモリの種類により異なります。詳細は担当営業まで問い合わせ願います。
Cisco Systemsならびにシスコシステムズのロゴはシスコシステムズ社の商標です。
Cisco, Catalystはシスコシステムズ社の商標です。

大規模ネットワークサービス管理 ProactNes / SN(Service Network)

ProactNes / SNは、キャリアや社会インフラなどに代表される大規模ネットワークの運用管理を総合的に支援する「サービスネットワークマネージャ」です。ProactNes / SNは、マルチベンダに対応しており、大規模、複雑化するネットワークの管理 / 監視から、運用に必要なネッ

トワークサービスの品質管理まで、ネットワーク運用管理のあらゆる面で、運用管理業務の容易化 / 効率化を実現し、運用管理コストを大幅に削減することが可能です。

大規模ネットワークの運用管理を実現

エンタープライズからキャリアクラスの大規模ネットワークの運用管理を強力に支援します。また、ネットワークの拡張にあわせて監視対象の範囲を広げるなど、ネットワークの進化に対応した運用管理が可能です。

サービス / セクションごとの運用管理を実現

ネットワーク障害時に、物理ネットワークの障害箇所、影響範囲だけではなく、ある特定の業務 / アプリケーションや組織に特化した影響範囲をマップ上に表示する「マルチプルサービスビュー」を実現します。これにより、ネットワーク運用者は発生した障害がどのユーザー / 業務にどの程度の影響を及ぼすかを容易に把握でき、障害通知 / 復旧作業を迅速に行うことができます。

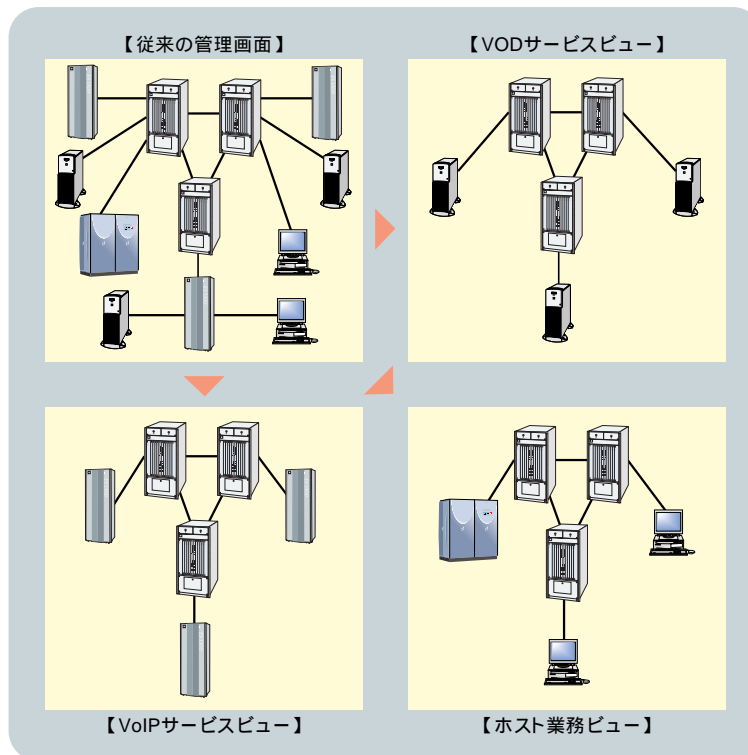
豊富な運用管理機能

ProactNes / SNは、豊富な運用管理機能を提供します。Webブラウザを利用して運用状況(回線パフォーマンス、サーバ状況など)のリアルタイムな把握が可能
冗長構成を含めた物理構成を管理
SLAなどの最新の性能管理機能によりJTCO削減が可能
サービス / セクションごとに運用GUIをカスタマイズ可能
CORBAベースのAPIを利用することで、外部アプリケーションとの連携が可能

マルチベンダ環境への対応

富士通製品をはじめ、Cisco Systems、Extreme Networks、Lucent Technologies、Nortel Networks、その他のメーカー製品も含めたマルチベンダネットワークの運用管理を実現します。

マルチプルサービスビューのイメージ



GeoStream R940IPスイッチングノード機器管理システム GeoStream Element Manager

GeoStream Element Managerは、キャリア / ISP / 社会インフラに適用されるGeoStream R940IPスイッチングノードの機器管理システムです。GeoStream Element Managerは、トポロジ管理、装置状態管理、障害 / 性能管理など、GeoStream R940IP

スイッチングノードを詳細に管理することができます。ネットワーク運用者はGeoStream Element Managerを利用することで、GeoStream R940で構築されたネットワークの効率的な運用管理を実現できます。

構成管理 / 運用支援

背景図 / 装置 / リンク / 装置グループおよびカード実装状態の表示が可能
コンフィグ情報の自動バックアップ / 表示が可能
装置のソフト登録 / ダウンロード / 削除 / 版数表示などが可能
カタログスケジュール実行が可能

障害管理

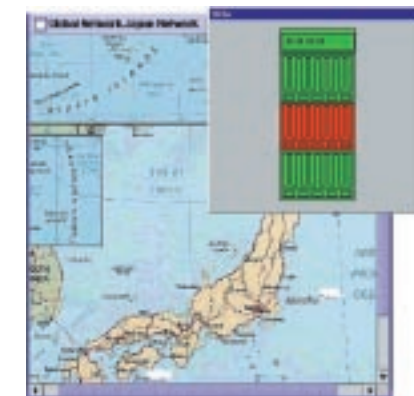
アラーム発生、復旧の厳密かつリアルタイムな監視が可能
E-mailによるアラーム通知が可能

性能管理機能

トラヒック / 品質データの収集 / 表示(グラフ / 表形式)が可能
収集したデータをCSV形式で出力することが可能

ProactNes / SNとの連携

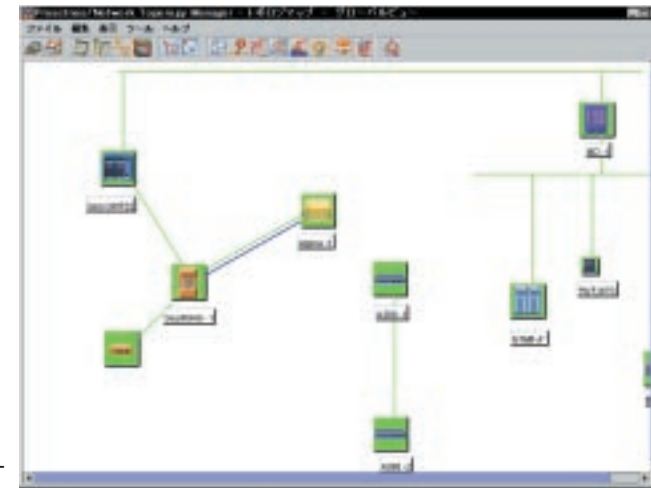
ProactNes / SNと連携することで、各種データベースやビューを共用することが可能



機器詳細管理画面

物理構成ベースのネットワーク管理マネージャ Proactnes / Network Topology Manager

Proactnes/Network Topology Managerは、ネットワークの障害箇所の迅速な特定を可能にするネットワーク構成管理マネージャです。従来の論理構成(IPアドレス)ベースの管理ではなく、物理構成ベースの管理をすることにより、障害発生時にも障害が発生した箇所をピンポイントで特定できます。さらに、VLAN管理、ホットスタンバイ構成管理、スパニングツリーによる冗長構成の管理など、従来の論理構成ベースの管理マネージャでは困難だった管理が容易に行える、ネットワーク管理ツールです



物理構成監視ビュー

特長

障害箇所の迅速な特定

ネットワークの障害発生時に、障害が発生したノードおよびポートの迅速な特定が可能です。障害発生から復旧までの時間を短縮し、運用管理者の手間も軽減することができます。さらに、発生した障害の影響範囲をマップ上で一目で確認することができます。



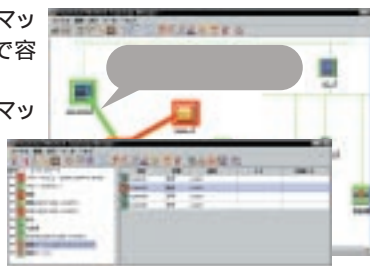
障害箇所の迅速な特定



障害の影響範囲を図示

VLAN構成管理

VLANが利用している経路をマップ上にオーバーレイ表示しますので容易に確認することができます。また、VLANの設定や変更は、マップ上でのマウス操作によって容易に実現できます。



VLAN経路表示画面

冗長化構成管理

スパニングツリーやホットスタンバイといった冗長化構成を用いたネットワークでも、その稼働状態が回線や装置の色によって容易に判断することができます。



スパニングツリー状態表示

トラフィック管理

ネットワークの物理構成に着目したことで、トラフィックの管理が容易となります。トラフィックマップにおいて、回線の色の変化でネットワークのボトルネックが判断できます。回線ごとのトラフィックのグラフ表示によって、傾向分析が容易に行えます。



トラフィック管理画面

拡張機器監視オプションによるマルチベンダネットワークの管理

複数のベンダの機器で構成されたネットワークでも、拡張機器監視オプションの追加により、同一の操作方法によるシームレスなオペレーションが可能となります。



マルチベンダネットワークの詳細表示

動作環境

関連サービス商品

Proactnesスタートアップサービス
Proactnes/Network Topology Managerの要件整理～設計～導入作業までを当社専任部隊が実施することにより、システムの円滑な導入を実現します。

Proactnesサポートサービス
導入後の問題解決支援(Q&A対応)、レベルアップ版の提供およびタイムリーな情報提供を行います。

TCOの削減と高速化/複雑化するネットワークの運用管理をサポート。

富士通のネットワーク管理製品は、ネットワークの効率的な運用とTCO削減を実現します。それぞれに特徴的な強みを持つ2種類のSNMPプラットフォーム(SystemWalker / CentricMGR、Fujitsu

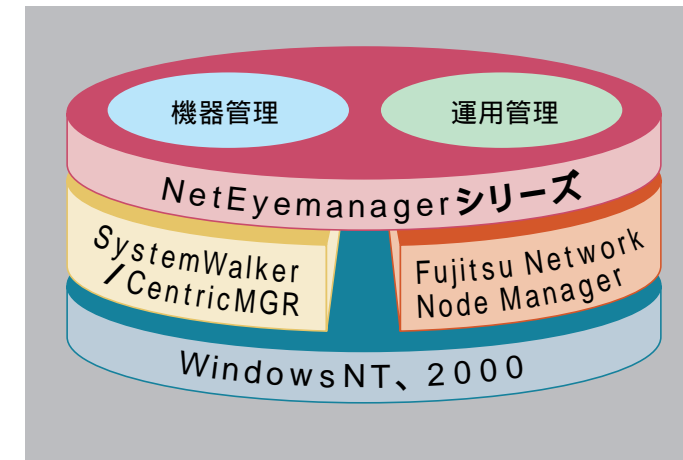
Network Node Manager for WindowsNT) きめ細かな管理を可能にするアプリケーションNetEyemanagerシリーズの連携により、ネットワーク管理部門を強力に支援します。

アプリケーション

NetEyemanagerシリーズ
・SNMPプラットフォームと連携
・ネットワーク機器の詳細管理
・IPアドレス管理などの運用管理

SNMPプラットフォーム

SystemWalker / CentricMGR
・クライアントサーバまで含めたシステム・ネットワークの統合運用管理



SNMPプラットフォーム

Fujitsu Network Node Manager for WindowsNT
・ネットワーク専用管理に強み
・マルチベンダネットワーク管理

各プラットフォームとアプリケーションの連携動作については、組み合わせ条件があります。詳しくはP43をご覧ください。

インターネットビジネス時代の統合運用管理ソリューション SystemWalker/CentricMGR

「SystemWalker / CentricMGR」は、インターネットビジネス時代に対応した統合運用管理ソフトウェアです。小規模のクライアントサーバ環境から超大規模のビジネス環境まで一か所の管理サー

バからシステムやネットワークを集中管理することで、運用コスト(TCO)の削減とシステムの安定稼働を実現します。

業務のライフサイクルをトータルに管理

SystemWalker / CentricMGRは、企業システムを適切に維持・管理する上で必要なソリューションを提供します。デプロイメント、モニタリング、リカバリ、アセスメントという企業システムを維持していくためのライフサイクルに従って、ビジネス環境を統合管理します。

デプロイメント[導入/設定]

サーバまたはクライアントで使用するアプリケーションやデータなどの資源を一元管理し、対象のサーバやクライアントにオンラインで配付することができます。また、サーバ/クライアントの空きディスク容量や搭載メモリ量などのハードウェア情報や、すでにインストールされているソフトウェアの情報を、インベントリ情報として収集し参照することができます。

モニタリング[監視]

ネットワークやシステムアプリケーションの稼働状況、障害発生、性能状況をGUIを使用した画面で集中的に監視できます。イベントログ・SNMPトラップ・指定のログファイルなどに出力されたメッセージをSystemWalker / CentricMGRの運用管理サーバで集中管理します。WWWブラウザからビジュアルな管理画面を参照したり、携帯電話(iモード)での監視もできますので、場所を選ばずに障害発生を監視できます。

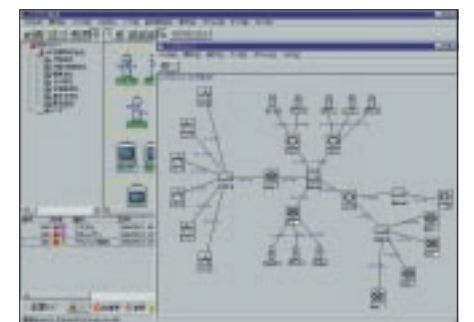
リカバリ[復旧]

SystemWalker / CentricMGRでは、リモートから診断したり、蓄積したノウハウを利用したオペレータ操作のナビゲート機能により、運用中にネットワークやシステムで発生するさまざまな障害の復旧作業を効率的に行うことができます。

アセスメント[評価]

サーバ/クライアントのソフトウェアのライセンス数を一元管理することができます。蓄積された情報を元にレポート出力を行い、システムの評価/分析を行うことができます。

・インターネットで製品情報がご覧になれます。 <http://systemwalker.fujitsu.com/jp/>



マルチベンダー環境のネットワーク管理プラットフォーム Fujitsu Network Node Manager for WindowsNT

Fujitsu Network Node Manager for WindowsNT は、トータルなネットワークリソースの管理プラットフォームです。ネットワークパフォーマンスの評価、障害の予測、ネットワークの拡張や再構築の計画の際、ネットワーク管理部門を強力に支援するツールです。

最新ネットワーク構成への自動更新とグラフィカルな構成管理機能

実際のネットワーク構成を、階層構造化したシンプルなマップとして表示します。また、最新のネットワーク構成を常時監視し、ノードの追加や削除、トポロジーの変更など、ネットワーク状態の変化を自動的にマップに反映します。



ネットワークダウンの回避と早急な復旧につながる障害管理機能

ネットワーク上の各ノードのステータスを定期的にチェックし、マップ上のシンボルの色の変化で表示することで、問題箇所を素早く特定します。また、障害、しきい値超過、ステータス変化などの各イベントを分類して管理者に自動通知します。



トラブル発生時の原因分析を支援する性能管理機能

SNMPをサポートするノードのMIB値を収集し、リアルタイムのパフォーマンス状況をグラフィカルに表示します。また、MIBしきい値をユーザーが定義することができるため、ネットワーク状態の柔軟な監視が可能となります。

大規模ネットワークの集中管理を可能にするMS-CS連携機能

Fujitsu Network Node Manager for WindowsNTをMS(上位)とCS(下位)の階層構成にすることにより、大規模ネットワークの集中管理が可能になります。各拠点のCSで収集した情報のうち、重要なものを中央のMSに転送します。これによって、各拠点と中央の間のトラフィックを最小限に抑えながら、分散したネットワーク環境を集中管理することができます。

その他の機能

Webインタフェースにより、リモートサイトから各種ネットワーク管理情報にアクセスできます。また、集中監視形態だけでなく、各拠点のFujitsu Network Node Manager for WindowsNTとの連携による階層構造管理が可能となります。さらに、保存データを外部のデータベースに出力することができ、データ管理が容易です。

本製品はHewlett-Packard社OpenViewのライセンス許諾製品です。OpenViewはHewlett-Packard社の商標です。

ネットワーク管理をよりきめ細かく支援するアプリケーション NetEyemanagerシリーズ

NetEyemanagerシリーズは、ネットワークの効率的運用とTCO削減を実現するアプリケーション群です。プラットフォーム SystemWalker / CentricMGRやFujitsu Network Node Manager for WindowsNTと連携し、ネットワーク機器の管理、アドレス管理、性能管理、帯域制御など、よりきめの細かいネットワーク管理を支援します。

機器管理

- 特長**(NetEyemanager / LAN, SH, ATM-AS, ATM-EW, ATM-SH, CiscoWorks, Extreme)
- 管理対象機器のポートや伝送路の状態を実機に近い機器イメージで表示
 - 管理対象機器の各種障害やイベントを管理可能
 - 富士通製ネットワーク機器の詳細管理が可能(LAN, SH, ATM-AS, ATM-EW, ATM-SH)
 - マルチベンダーのネットワーク環境にも対応(CiscoWorks, Extreme)
 - FDDIリングの詳細管理が可能(NetEyemanager / LAN V07以降)
 - 通信状態のグラフ表示、およびCSVファイルでの保存などの性能管理が可能(CSVファイルの保存はNetEyemanager / LAN V07、NetEyemanager / SH V09以降)
 - 監視装置情報 / 採取統計情報 / 障害情報をリスト表示、およびバックアップ・復元機能(NetEyemanager / LAN V07、NetEyemanager / SH V09以降)



NetEyemanager / SH

運用管理

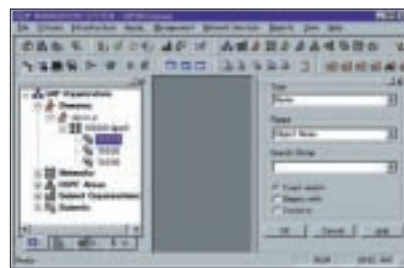
特長

IPアドレス管理(NetEyemanager / QIP)

- 全社のIPアドレスをGUI上で一元管理
- RSC2136のダイナミックDNSに準拠したDNS-DHCP自動連携機能
- 階層的な管理者定義機能により整然とした管理体系で管理工数を削減
- DHCPサーバの二重化機能により、サービスを保証

VoIP電話番号管理(NetEyemanager / VoIP)

- IPアドレスと電話番号を管理するGateKeeper機能を提供
- 大規模なVoIPネットワークでも電話番号の一元管理が可能。また、局番単位(ゾーン)の管理と局番間でのGateKeeper連携が可能
- 回線帯域 / 呼数の最大数にあわせて呼数を制御し一定の音声品質を保証(オプション)。さらにPolicy Server for LAN(P77)と連携してネットワーク全体の音声帯域を制御することが可能
- 当社製ソフトウェアSafeCLUSTERと連携しGateKeeperの二重化が可能(オプション)



NetEyemanager / QIP

ポリシーベースでのネットワーク管理を実現 Policy Server for LAN

Policy Server for LANは、ネットワーク全体をひとつのリソースとして管理する「Policy Base Network」を実現する運用管理ソフトウェアです。設定情報の事前作成・一元管理・遠隔地からの設定

などの機能をポリシーベースで行うことによりネットワークの運用管理コストを削減します。また、スケジュール管理機能により、ネットワークの設定内容を自動的に切り替えることが可能です。

設定情報の事前作成

機器の導入前に、実機と同じWeb画面で設定情報を作成することが可能。設定したデータはファイル転送によって対象機器に反映させることができます。

設定情報の一元管理

対象となる機器との間で設定情報の集信 / 配信を行い、機器の設定の一元管理をすることが可能です。この集配信にはポリシー管理に基づく部分的な情報の単位で行うことも可能です。

ネットワーク運用のスケジューリング

ネットワークの設定をスケジュール化し、帯域制御やフィルタリングなどの柔軟な運用を行うことができます。たとえば、昼間にはオンライン業務の優先した帯域保証を行い、夜間の時間帯にはバッチ処理のトラフィックを優先させるなど、時間帯に応じた運用が可能になります。

VoIP呼数制御機能

VoIPゲートキーパ(NetEyemanager / VoIP呼数制御オプション)と連携して、VoIPによる音声通信のトラフィックが保証されている帯域を超えた場合に、呼数を制限して音声パケットの廃棄を回避することができます。これによって、VoIPネットワークにおける音声通信の品質を一定に保つことができ、さらに回線コストの削減を可能にします。

